

令和8年度 宮崎地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

☐ 地域の現状と今後の方向性

急坂が多いエリアであるため、必要な情報が必要とされている方に届いていない可能性があり、5職種連携の上ケアプラザの周知を進めていき、活動が手薄なエリアで意識的に啓発活動に取り組んでいきます。また地域の担い手の不足もあり、地域の活動が停滞しないよう新たな人材の発掘に力を入れ、地域と連携しながら事業を発展させていきます。また認知症の啓発事業にも力を入れ、認知法の方が地域で生き活きと生活できるよう関係機関と共同しながら進めていきます。

☐ 今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
☐	☒	高齢障がい支援部会で報告された第一地区の新しいサロンを活用して、認知症や障害の方が気軽に立ち寄れるサロンにしていきます（ロコミ・チラシ配布の実施）。また、地域住民と共有して、どのようにして盛り上げていくかを話し合っていきます。また定期的に「出張ケアプラザ」を開催し（羽沢東部自治会・赤門2丁目自治会）、ケアプラザ機能についても地域に周知していきます。
☐	☒	お買い物ツアーで地域ボランティアや既存の団体などに働きかけて、車の添乗や付き添いなどを分担して請け負ってもらうことで、回数や参加者を増やしていきます。また、「お買い物ツアー」では利用先のスーパーや薬局と協力してスローショッピングが行えるようにしていきます。
☒	☐	ケアプラザの貸室を利用している団体に声掛けし、ケアプラザでのボランティア活動だけに留まらず、地域で必要とされるボランティア活動を紹介するなど、新たな試みをしていきます。
☐	☒	認知症のある人とその家族を地域で見守り、支援していくために、サロン主催者への認知症（病気）への理解と、対象者が参加しやすい環境づくりを進めていくため、個別レベル、包括レベル地域ケア会議を開催していき、その中で支えあいの仕組みづくりについて検討を進めていきます。
☐	☐	

◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り

☐ 区からのコメント